

科目名称	木工技法演習			授業コード	10036180
担当教員	安森 弘昌				
単位数	2.0	授業形態	演習	科目分類	選択
年次	3	開講年度	2019	開講学期	前期
関連資格					
履修制限等	P生限定、「その他」参照				
到達目標(目的含む)	木材でどのようなデザインが可能なのか、作品を制作する場合、どんな木材をどのように使用しどんな技法を採用するのか、がわかるようになる。				
授業の概要	木材を用いてプロダクトを制作するとき、素材の特徴や制作技法を知識として蓄積しておくことは、デザインを進める上で重要である。この授業では、家具メーカーの製造部門に勤務していた経験を活かし、木工技法についての基本的な知識を得るための技法体験の演習を毎回行う。並行して、木材についての知識の習得を目的としたプリントを配付するので、履修生は設問に答え、授業時間内に提出する。				
授業計画	1:4月15日(月)2限 6101教室集合 オリエンテーション 「木工技法概説」 2～3:6月10日(月)2～3限 「木材の用途、丸太の性質」 技法体験「箱・部材加工」 4～5:6月17日(月)2～3限 「木取りと乾燥」 技法体験「箱・組み立て・彫り」 6～7:6月24日(月)2～3限 「木材の特徴・異方性」 技法体験「曲げわっぱ・曲げ」 8～9:7月1日(月)2～3限 「木材の特徴・木表と木裏」 技法体験「曲げわっぱ・組み立て」 10～11:7月8日(月)2～3限 「樹種の使い分け」 技法体験「椅子・部材加工」 12～13:7月15日(月)2～3限 「木材の物理的特徴」 技法体験「椅子・組み立て」 14～15:7月22日(月)2～3限 「木材と持続可能性」 技法体験「椅子・編み」				
授業時間外学習	授業中に予習あるいは宿題として提示するので、指定期間内にやること。				
評価方法	技法体験の成果物の完成度およびプリントの得点を50%,50%の割合で評価する。また、出席が15回の内10回に満たない場合は、E評価となる。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	レポートに朱書きして返却する。				
使用テキスト	プリントを配付する。				
参考テキスト・URL	授業中に適宜提示する				
各自準備物	1回目のオリエンテーションで伝える。				
実習費	材料費として、一人3,000円を集合する。				
その他	1回目の授業は、6101教室集合。 P生限定、15名上限、希望者多数の場合、①木工コース生、②これまでの制作活動、③GPAの順に選考する。				